

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、脳神経内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 視神経脊髄炎関連疾患におけるサトラリズマブ治療に関する研究

[研究対象者]

2013年12月から2025年1月31日の間に東京女子医科大学脳神経内科にて視神経脊髄炎関連疾患と診断され、サトラリズマブによる治療を受けた患者さんを対象としています。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、病歴、治療法、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査、電気生理学検査、神経画像検査）

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）は自己免疫性炎症性疾患であり、従来ステロイド・免疫抑制剤を中心とした再発予防治療が行われてきました。最近では生物学的製剤が高い再発抑制効果を示すことが明らかになり、その治療戦略は著しい変遷を遂げています。本研究は、NMOSD患者さんにおけるIL-6受容体を阻害する生物学的製剤であるサトラリズマブの、再発抑制効果に加え、疼痛、ステロイド量の推移、治療薬の数への影響を明らかにすることを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2026年1月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 脳神経内科 講師 池口亮太郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 脳神経内科 講師 池口亮太郎

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）